

令和3年度第3回乙訓地区小中学校使用教科用図書採択協議会 概要

日時：令和3年7月28日（水）
午後2時30分から3時まで
場所：長岡京市立図書館 大会議室

1 開会・挨拶

西村会長（長岡京市教育委員会教育長）

2 出席者

(1) 協議会委員

○ 西村文則	会長	○ 永野憲男	副会長	○ 馬場信行	副会長
○ 白幡節子	委員	○ 松本克彦	委員	○ 中野 緑	委員
○ 福澤秀夫	委員	○ 京樂真帆子	委員	○ 盛永俊弘	委員
○ 吉川栄一	委員	○ 南 顕融	委員	○ 榎本和彦	委員
○ 宮本佳子	委員	○ 藤川敬之	委員	○ 大木義文	委員

以上、15名

欠席者 流石智子 委員、大下和徹 委員

(2) 各市町教育委員会等事務局

長岡京市 4名 裕次長兼学校教育課長、渡辺主幹兼学校教育係長、塩貝主事、
嶋崎主事

向日市 2名 松石主席課長兼学校教育課長、藤田学校教育係長

大山崎町 2名 上田学校教育課長、上村学校教育係 係長

オブザーバー 京都府乙訓教育局 松岡企画教育課長

3 議題 教科用図書の選定

社会【歴史】

- 帝国書院は節ごとに振り返りや課題設定を通して考える力を伸ばす工夫があり、今求められる学習形態に適っている。
- 現行の教科書である帝国書院は、学校現場において使い勝手の良さが評価されている点が良い。
- 自由社は、歴史上の人物に関するコラムや掲載資料が豊富で、生徒の興味関心を引き出しやすい。

- 帝国書院は、QRコードが豊富でデジタルコンテンツとの連携があり、小中学校に導入された一人一台タブレットを活用した主体的な学習に取り組みやすい。
- 自由社は、QRコードなどのデジタルコンテンツとの連携はない。
- 自由社は、各章の初めに小学校で学んだ人物紹介の年表を掲載し、小学校での学習とのつながりを図っている。
- 帝国書院は、中学生として身に付けるべき基礎的な知識を学ぶのに適している。
- 帝国書院は、段階的に考え方を整理し、話し合い活動等を通して理解を深める過程が丁寧に示され、思考力・判断力・表現力の育成につながる点が優れている。
- 子どもたちには世界の国々との交流から成り立っている偏りのない歴史観を持つてほしいことから、帝国書院が相応しいと感じる。
- 現行の教科書（帝国書院）は学校現場からの評価が高く、たった1年間で別の教科書に切り替えるということは現場の負担を考えても違和感がある。
- やや特徴的な歴史観のある自由社に比べて、帝国書院は若手の先生にも教えやすく、子どもたちの基礎的な力の育成につながる。

協議の結果、全会一致で、以下の中学校教科用図書を選定した。

- ・ 社会(歴史的分野)：株式会社帝国書院